ボーリング柱状図

調査名	主要地方道 呉環状線外 測量設計業務委託(道路・河川・砂防維持修繕) 警固屋第2ドック横
事業・工事名	主要地方道 呉環状線外 測量設計業務委託(道路・河川・砂防維持修繕) 警固屋第2ドック横

ボーリングNo	5	1	3	2	2	4	3	3	0	0	1

シートNo 1

ボーリング名	Ｎｏ．１	調査位置	呉市警固屋八丁目			北緯	34° 11’ 42.2497”
発注機関	広島県西部建設事務所　呉支所			調査期間	2019年 7月 2日 ～ 2019年 7月 6日	東経	132° 32’ 29.8817”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	GH=+23.00m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 28°	使用機種	
総掘進長	6.00m								

試錐機	東邦０－Ｄ	ハンマー落下用具	半自動モンケン
エンジン	ヤンマーＮＦＤ－１３	ポンプ	東邦ＢＧ－３Ｃ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	22.00	1.00	1.00		礫・シルト混り砂	黄褐	緩い		φ=2cm以下の亜角礫を10%前後含む。 シルト分を10～20%含む。 砂分は中～粗粒砂主体のマサ土。
2					強風化花崗岩	灰黄褐～灰褐			コア表面粗く，指圧で容易に砂状に崩れる。 長石類は粘土化，一部の石英類は礫～砂状で残る。 深度2.70m以深は灰褐色を呈す。
3	20.00	2.00	3.00						
4					風化花崗岩	灰褐～淡灰褐			コア表面粗く，ハンマー軽打で礫～砂状に崩れる。 石英類は硬質な礫～砂状で残り，長石類の一部は手揉みでシルト状に崩れる。 割れ目は不明瞭，深度下方にやや硬質化の傾向あり。
5									
6	17.00	3.00	6.00						
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									

孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～	打撃回数／貫入量(cm)	N値	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
	1.15	2	2	2	6／30	6							
	1.45～2.15	9	15	21	45／30	45							
	2.45～3.15	9	18	23／7	50／27	56							
	3.42～4.15	17	33／8		50／18	83							
	4.33～5.15	19	31／5		50／15	100							
	5.30～6.00	18	32／7		50／17	88							7／1
	6.17												